

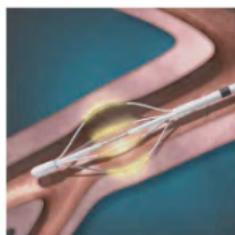
大阪はびきの医療センター

重症気管支喘息に対する気管支サーモプラスティ (気管支鏡による喘息治療) を始めました

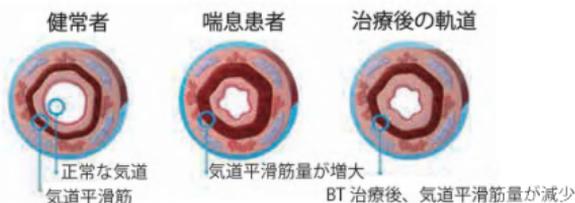
当院はこれまでの気管支喘息の治療法と異なる「気管支サーモプラスティ」を導入しました。
従来の薬剤治療を行っても症状が持続する患者さんの喘息発作症状緩和が期待できます。

治療の流れ

- ① 治療は入院して行います。治療の3日前からステロイドの内服を行い、喘息発作が起こりにくくした状態で実施します。
- ② 気管支カメラを用いて気管支壁に65℃の熱を加え、肥厚した気管支平滑筋を減少させます。
- ③ 治療後に一時的に喘息症状が起こりやすくなるため、ステロイドの内服を継続して頂き、症状が落ち着けば退院となります。
- ④ 上記の治療を3回行います。



気道断面図



健常者と喘息患者の気道断面図

近年の薬物療法の進歩により発作により病院を受診したり仕事や学校を休んだりするような状況は少なくなりました。しかし一方で、おくすりでは喘息症状がコントロールできない重症の患者さんがおられるのも事実です。気管支サーモプラスティという治療法は、このような重症持続型の症状緩和が期待できるとして注目を集めています。



重症の気管支喘息でお困りの方は、当センターにご相談ください。

アレルギー内科 主任部長 源 誠二郎

呼吸器内視鏡内科 主任部長 岡本 紀雄

お問い合わせ

地域医療連携室 Tel:072-957-2121(代) Fax:072-957-6285